

OB 寄稿

新 43 回前川貴史

『同僚トリオ快挙 5 大会で栄冠』

市職員トライアスロンチーム「総務部総務室」

8月25日神戸新聞三田阪神版、私がこの寄稿文を書くきっかけとなった記事の見出しです。事務長の絹田様からお電話をいただき、新聞の記事をご覧いただき、面白いことをしているので、OB 報告に是非一文を寄せてほしいとのことでしたので、お受けさせてもらうことにしました。

現役の皆さんにとって、今の競技生活に精一杯であると思いますが、卒業後も長い目で競技を楽しんでもらいたいという希望も含めて、私の社会人になってからの取組についてご紹介させていただきます。

私は新43回生の長距離メンバーの一人です。現役当時から、一般のロードレースやマラソンに出場するのが好きで自分でエントリーして遠出もしていました。

就職してからは、市役所のクラブチームに入り、仕事終わりに近所の公園でトレーニングしていました。学生の時の(トレーニングの)貯金もあって、兵庫県の郡市区対抗駅伝を走らせてもらったり、篠山ABCマラソンで入賞したこともありました。三田国際マスターズマラソン(ハーフ)では、地元の上位入賞者を姉妹都市(オーストラリアブルーマウンテン)に派遣する副賞があり、1週間のホームステイ兼ねて海外レースも経験させてもらいました。そのほか、ウルトラマラソンやマウントトレイル、印象に残っているレースは富士登山競争です。職場の先輩と一緒に出場しました。事前のトレーニングとして、大山にまでトレーニングにも行きました。一気に富士山頂まで駆け上がるレースですが、今思えばよく走れたと思います。レース後、当然山頂から自分の足で下るわけですが、かなりきつかったのを覚えています。

一方、トライアスロンですが、学生の時から興味はありましたので、就職してすぐに自転車を購入して始めました。デビュー戦は播磨中央公園の池(二度と泳ぎたくありませんが…)を使ったレースからスタートして、全国各地のレースを旅行も兼ねて楽しみました。玄界灘、伊良湖岬、佐渡島、野尻湖、長良川など様々なローケーションでスイム・バイク・ランを満喫してきました。スイムが競艇場というレースも出場しました。

新聞記事になったトライアスロンのチームは2010年に同じ職場のメンバーで結成しました。たまたまではありますが、職場の同じフロアに、水泳、自転車、それぞれ達人がいたので、私を含めて、3人でトライアスロンリレーに出ようと誘ったのが始まりです。大阪舞洲の大会に出たのですが、もう少し頑張れば優勝できたのではということで、次の年も出場したところ、優勝することができました。これで、3人ともはまってしまい、全国各地のレースに「1年に1回、一度優勝したレースは出場しない」というルールのもと、今まで続いてきました。

そして、今年は群馬県の榛名湖トライアスロンに出場し、優勝することができ、また、来年はどのレースにしようか考えているところです。そして、最年長者である私が走れる限りは続けていこうと思っています。

最近のトレーニングは休日だけというのが基本的なスタイルです。土日に20キロ程度ペース走をしています。ペース走といっても、1キロ5分程度ですが。レース前は少し強度を上げたり、たまにインターバルをしたりします。結婚して子どもができてからは、そんな感じでゆるーくやっています。その程度が長く続けるコツかなと思って、自分を納得させています。おかげさまで故障とはほぼ縁がなくなりました。



榛名湖トライアスロン、3人そろって優勝のゴール

この12月18日には、コロナで3年ぶりのリアル開催となった三田国際マスターズマラソンに出場しました。開催の2週間ほど前に本田雅樹先輩(新42回主将・中距離)から「自分も走るのぞ」との連絡をいただき、走り終わったら会う約束をすることができたので、レース後の祝杯を楽しみに当日を迎えました。当日は三田のハーフらしい寒い1日で、特にレース前半は強い横風に悩まされました。目標は1時間22分台でしたが、結果は1時間25分08秒と残念なレースになりました。が、単純にトレーニング不足、仕方ないと納得しました。また、次のレースで楽しみたいと思います。

レース後は無事に本田先輩と会うことができ、三田駅近くの居酒屋で久しぶりの打ち上げ。卒業して25年以上経っても、こうして同じレースを走って、レース後に乾杯できるということは幸せなことだとつくづく感じた1日でした。

現役の皆さん、そしてOBの皆様、最後までお読みいただきありがとうございました。何か少しでも参考になれば幸いです。



レース後、本田先輩(右)との記念写真